

## 名古屋市要介護度等改善事例公表事業

## 改善・向上したこと

行動範囲の拡大「屋内は歩行器を使用して移動していた利用者様が杖歩行にてパン屋や公共交通機関を使用して百貨店に行けるようになった。」要介護3→要支援2

事業所	サービス種別	通所リハビリテーション
	事業所名	医療法人杉山会 デイケア・セエダ
	所在地	名古屋市名東区社台3丁目19番地1
利用者	65歳未満 ・ 65～70歳 ・ 70歳代 ・ 80歳代 ・ 90歳～	

## 取り組み

課題（取り組み前の時点）	転倒・外出する事への恐怖心強く、行動範囲は自宅内だけの状況でした。		
本人の意向	自分でパン屋に行けるようになりたい。		
長期目標	屋外歩行の獲得（パン屋に行きたい）	取組期間	1年間
短期目標	歩行器歩行から杖歩行へ変更（歩行能力の向上）	取組期間	6ヵ月
関連する加算の算定状況			

## 具体的な取り組み事例（期間、頻度、内容、主に担当した職種など）

通所リハビリテーションにて理学療法士・作業療法士による個別リハビリを20分間週3回実施しました。

個別リハビリの内容として、まずは下肢筋力強化訓練・バランス訓練・歩行訓練等を実施し、屋内を歩行器歩行から杖歩行へ移行して行きました。次に歩行器を使用して屋外歩行訓練（300～600m）・階段昇降訓練（手すり無し杖のみ等も実施）・応用歩行訓練（坂道・歩道橋・床の物を拾う・物品の運搬など）などを実施しパン屋までの道のりを確認してから、パン屋まで行ける能力が得られたことをフィードバックし不安の解消に努めました。不安が解消されて自己にて歩行器を使用してパン屋まで行けるようになると公共交通機関（バス）を使用して百貨店に行きたい（百貨店に行くなら歩行器は嫌、杖で行きたい）との希望が認められた為、歩行器にて実施していた屋外歩行訓練・応用歩行訓練・階段昇降訓練を杖で実施できるように使用物品を杖に変更して訓練を実施していく事で公共交通機関を使用して百貨店まで行き好きなものを購入できるようになりました。

## 結果（達成したこと、達成時期）

行動範囲が広がったことで自分の購入したい物を購入できるようになった。また、行いたいことが増加していき、QOLの向上が認められた。

## 達成後の課題・目標

今度は、動物園に行きたいとの希望があり、耐久性を向上し更なる行動範囲の拡大に努めていきたいと思います。(支援2に変更となった事で利用機会が週3回から週2回に減少し、訓練もマシントレーニング〔自転車漕ぎ〕が中心)

※ 個人情報の取り扱いにご注意ください。